

地震調査研究推進本部の成果の 活用について

兵庫県防災計画室 山本 晋吾

平成21年10月15日(木)
地震本部政策委員会 第6回総合部会

概要

- 防災基本計画
- 地域防災計画(地震災害対策計画)
- 被害想定と地震動予測の地震対策への影響
 - 市町村防災対策のミスリード
 - 住民のニーズ
- 地震動予測地図の活用状況
- 地震動予測地図の地震対策への展開
 - マクロとミクロの視点

防災基本計画

地方公共団体は、地域の特性を踏まえた被害想定を実施し、それに基づく減災目標を策定し、国の協力のもと、関係機関、住民等と一体となって、効果的かつ効率的な地震対策の推進に努めるものとする。(防災基本計画2編1章1節:平成20年2月中央防災会議)

地域防災計画(地震災害対策計画)

既往地震の概要

地震被害想定の結果

災害予防計画

数値目標

災害応急対策計画

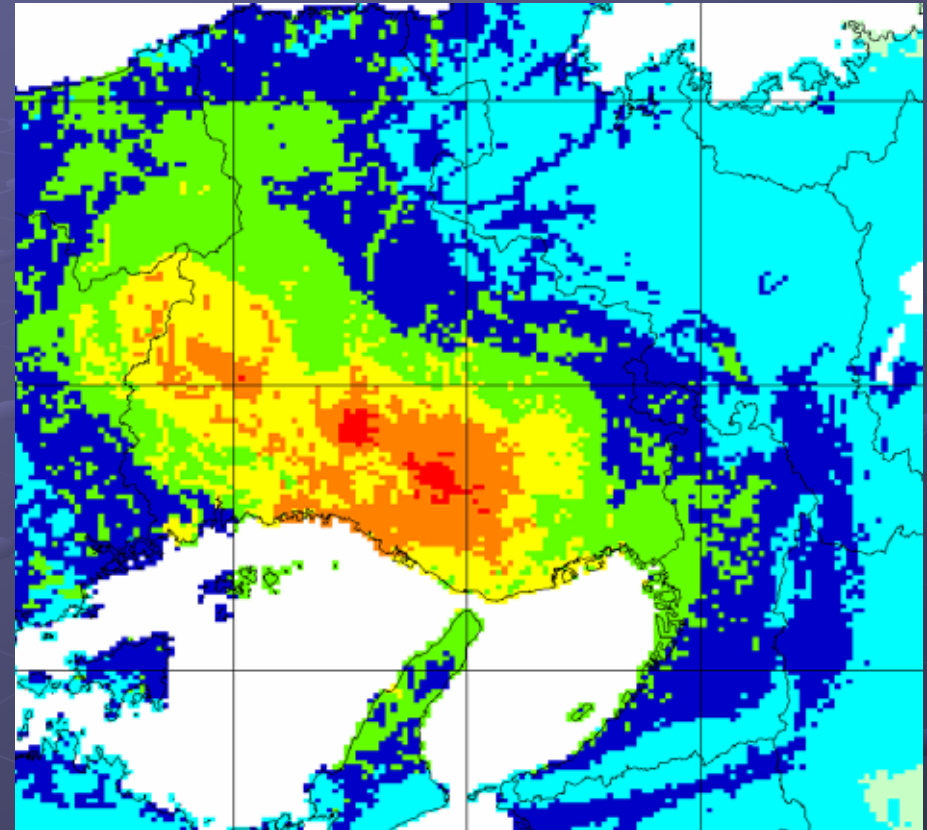
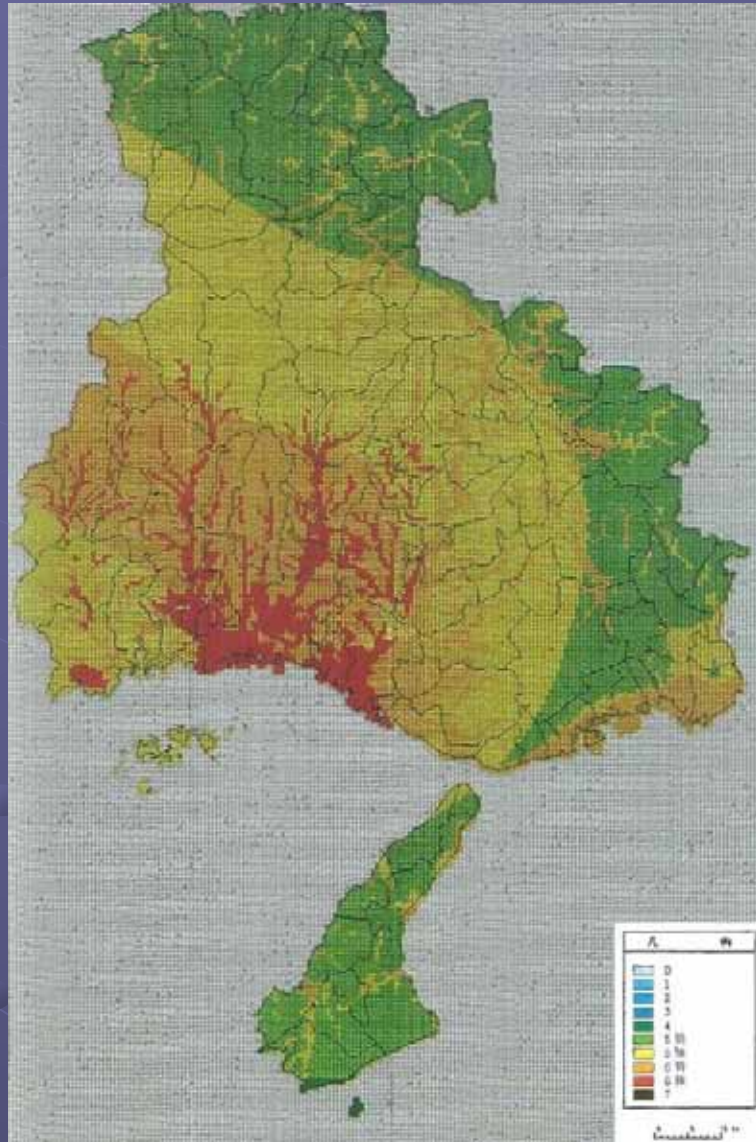
時系列計画

災害復旧計画

災害復興計画

事前復興計画

被害想定と地震動予測の地震対策への影響



中央防災会議の被害想定による山崎断層帯地震の震度分布 (2007)

県の被害想定による山崎断層帯地震の震度分布 (1999)

市町村防災対策のミスリード

● ある首長の訴え

「中央防災会議の内陸型直下地震の被害想定では、山崎断層帯の地震で本市は震度7が想定されている。これまで県の被害想定では想定されていないのに、住民の不安解消をどうしたらいいのか。万一、被害想定に誤りがあるのであれば、訂正が必要であると考える。」

● 中央防災会議の被害想定

某市の死者1,000人、倒壊家屋13,000棟

● 兵庫県の被害想定

某市の死者2人、倒壊家屋300棟

住民のニーズ

【よくある問い合わせ】

- 自分の家が活断層の上にあるかどうか確認したい。
- 土地の地盤が地震に強いかどうか調べたい。
- マンションを買いたいけど、その地域は地震のときにどのくらい揺れるのか。
- いつ頃地震があると予想されているのか。



● 個別の情報提供による危険性

- 断層の上でないから大丈夫。
- (被害想定のある)断層から遠いから被害が少ない。
- 地盤がしっかりしているところだから揺れない。
- 阪神・淡路大震災が起きたから、生きている間は地震は起きない。

地震動予測地図の活用状況

**災害に備えて
年に一度は行動を!**

防災力強化
県民運動に
参加しましょう

防災力強化県民運動とは?

私たち兵庫県民は、阪神・淡路大震災の経験と教訓から、行政による「公助」には限界があり、自分の生命は自ら守る「自助」や、近隣の人々が助け合う「共助」の大切さを学びました。
このため県民一人ひとりが日頃から災害に備え、地域の絆を大切に、助け合い、支え合い地域をつくり、将来発生する災害から生命や財産を守る取り組みの美徳を、呼びかけています。

まずは、あなたの身の回りの家具等の転倒防止から

地震動予測地図の見方

今後30年以内に震度5弱以上の揺れに見舞われる可能性を示しています。

- 発生可能性区分
- 100%~26%
- 25%~6%

ひょうご安全の日推進県民会議

裏面であなただの防災チェックを!

地震動予測地図の見方

今後30年以内に震度5弱以上の揺れに見舞われる可能性を示しています。

- 発生可能性区分
- 100%~26%
- 25%~6%

【全国を掲載した地震動予測地図2008年版】(地震調査研究推進本部作成)から転載
※震度5弱:「家具が移動することがある。」(気象庁震度階級関連解説表より)

防災力強化県民運動啓発ちらし

地震動予測地図の地震対策への展開

| | 地震動予測地図 | 地震被害想定 |
|----------|--|---|
| 内容 | 特定の地域における地震動が発生する 可能性 | 特定地域の地震発生時の被害の 規模 |
| 評価 | 複数の地震 についての評価 | 単一の地震 についての評価 |
| 展開する地震対策 | ミクロ・長期的・被害軽減 | 応急対応・短期的マクロ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●耐震化の推進 ●家具の固定 ●地震保険(保険料率) ●自主防災組織 ●企業の事業継続 ●防災教育(リスクの理解) | <ul style="list-style-type: none"> ●(消防・警察・自衛隊)応急救助体制 ●避難所設置 ●食料・物資備蓄 ●被災住宅対策(被害認定) ●防災教育(ハザードの理解) |
| 対策主体 | 住民(個人・地域)、企業、市町村(防災知識は多くない) | 国、都道府県、市町村(ある程度の防災知識あり) |

地震動予測地図利用の展開方策

● 防災基本計画への記述

- 地震被害想定だけでなく、地震動予測についても言及する
 - 全国の地域防災計画での記載が検討される

● 地震動被害の明示

- 地震被害想定と同じように被害まで示して、理解しやすい提供方法を考える
 - この確率だからどうなる
 - 家屋が倒壊するような激しい揺れ(6弱)が、今後30年以内に発生する確率は %
 - 兵庫県のチラシ: 今後30年度以内に震度5弱以上の揺れに見舞われる - 震度5弱「家具が移動することがある」

兵庫県における 地震動予測地図利用の今後の展開

- 21年度改正の地域防災計画への記載
- 消防防災GISへの地震動予測地図の登載
- 地域のハザードマップへの記載
- 超高層ビルの管理者・管理組合への長周期地震動対策(家具固定など)の啓発資料への記載

